

おいしい自然薯を届けるために

～令和元年度 JA いすみ自然薯組合ほ場巡回～

夷隅農業事務所改良普及課 令和元年8月19日発

JA いすみ自然薯組合（2市1町で構成された組合員8名）では、8月5日に、お互いのほ場や、来年度使用する種芋を栽培している増殖ハウスの相互巡回を行いました。

当日は、生育状況や病害虫の発生状況を確認し、農業事務所からは、梅雨明け後のかん水等による乾燥対策や、今後の病害虫防除方法について、資料を基に講義を実施しました。続いて、高品質の自然薯生産に向けた栽培方法について、お互いに意見を出し合いました。

当組合で生産された自然薯のほとんどは予約注文により販売されているため、一般ではなかなか購入できませんが、毎年待ち望んでいる顧客のために、組合員は丹精込めて生産しています。

今後も農業事務所では、夷隅地域の特産物の生産振興に向けた支援を行っていきます。



ほ場の状況をお互いに確認



共同増殖ハウスの生育状況確認